

特集2 フルハシEPOが考えるサステナビリティ~SDGsとのかかわり~

フルハシEPOは、企業活動を通じて社会課題の解決に積極的に貢献していきます。
 企業としてSDGsに取り組むにあたり、当社の事業活動とのかかわりの深い目標を抽出し、それぞれの関係を見出しました。

持続可能な開発目標(SDGs)

2015年9月、国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダでは行動指針として、2030年までの実現を目指す「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)を掲げており、17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。



フルハシEPOの4つのテーマ

当社の企業活動は、SDGsの17の目標に広くかかわりますが、特に関係の深い6つの目標に重点を置いて推進していきます。

テーマ
1

木質バイオマスを中心に、クリーンエネルギー事業を推進、地球温暖化防止に貢献します。



テーマ
2

新たな可能性にチャレンジし、積極的に技術開発に取り組めます。



テーマ
3

都市における木質資源リサイクル(資源循環)を強力に進め、廃棄物の削減と持続可能な街づくりに貢献します。



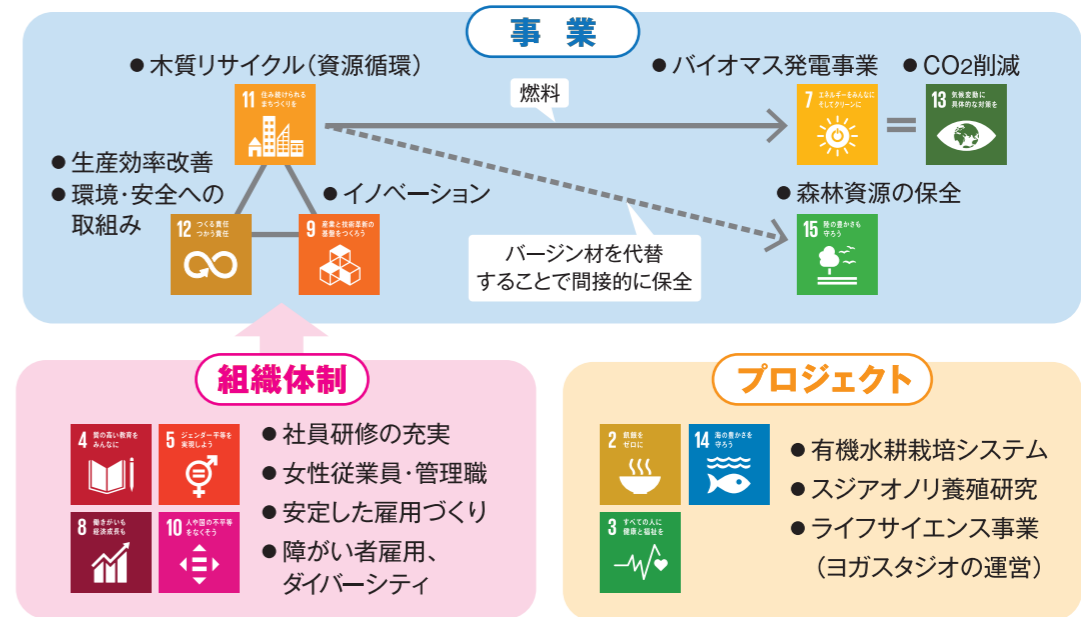
テーマ
4

木質資源のリサイクルにより、国内外の過剰な森林資源の消費を抑制します。



企業活動とSDGsの関係

事業に深くかかわる6つの目標のほか、組織体制、プロジェクトに関係する目標を含め、企業活動と各目標の相関関係を図式化しました。



フルハシEPOのSDGs取組み

理解

フルハシEPOのSDGs取組み

SDGsに関する理解向上を目的に、社員を対象としたSDGsの研修を実施しています。
 SDGsの趣旨や企業が取り組む意義、フルハシEPOの企業活動との関連について講義やワークショップで学びます。



取組み

主力業務を通じた貢献

フルハシEPOは、主力業務として木質リサイクルチップの製造を行っています。建設副産物を廃棄物ではなく、資源として有効活用しています。製造された木質リサイクルチップの一部は、バイオマス発電燃料としてクリーンエネルギーを生み出しています。



報告

コミュニケーションと報告

フルハシEPOではE(環境)、S(社会性)、G(企業統治)などの非財務情報を「フルハシEPOレポート」において開示しています。

